

無所属市民派 西東京市議会議員



森てるおの なんでもりポート 第17号

2003年11月発行(隔月発行) 定期購読料:年間1,000円(送料含む)
編集:森てるお事務所 発行:森てるおと市民の目

浜岡原子力発電所の話

「拡声器19号」一面記事「陳情は審議しようよ!」の発端となった浜岡原子力発電所についてお話しします。

必ず起こる東海大地震

浜岡原子力発電所は中部電力が静岡県浜岡町に建設し、現在4基が営業運転を行っています。この地域は東海地方で、阪神淡路大震災を数十倍も上回る規模の東海大地震の発生が時間の問題になっている地域です。浜岡町は東海大地震の予想震源域の中心にあります。浜岡原発はそんなところに立っています。

原子力発電所は地下の岩盤に杭を打ち込んで建物を固定し、地震による建物の倒壊を防ぐことになっています。しかし、その岩盤が動いてしまったらどうなるでしょうか。浜岡原発4号機は「動く岩盤」活断層に固定されています。壊れると考えておくのは当然のことです。また、原発は総延長何kmにもなるほど多くの重要な配管に取り巻かれています。配管はたびたび破断、ひび割れなどの事故が起こっています。万が一建物本体が壊れなかった場合でも、配管が損傷を受けたらやはり重大事故になります。

原発震災に

原発事故が地震とともに起こったら、阪神淡路の時のような地震被災者の救助ができません。地震で原発が重大事故を起こす災害を原発震災と呼ぶのですが、被災地に入ることはできず、被災地から出ることも厳重に管理されます。浜岡をチェルノブイリに見立てると、東京、大阪、名古屋などは強制移住区域、北海道から沖縄、小笠原諸島までは放射能管理区域に入りそうです。

「東京に人が住めない」一極集中で整備されてきた社会資本が使えないということです。日本はどうなるでしょうか。

実は、国は地震で原発が崩壊する恐れがあることを隠しています。被害予測を発表したら原発は作れない、そればかりかパニックが起こってしまう、だから、本当のことは教えられない、ということなのです。現地では通常の避難訓練だけが行われています。

火山国、地震大国に50基以上の原発があるだけでもたいへんなことなのに、大地震が予定されている地域の活断層の上に原発を作るなど、住民を道連れにして、自爆することを志願しているとか考えられません。

浜岡原発は廃止にすべき

こんな浜岡原発を何とかしたい、事故があってからでは取り返しがつかない、そんな気持ちで8件も陳情が出されました。賛成、反対は別にして、門前払いはないでしょう!

11月に発行された「市議会だより」には陳情が出されたという記録さえありません。門前払いとは陳情を出した事実さえ消し去ってしまうのです。許せません。

浜岡原発の稼働停止、廃止に向けて、一市民としても努力していきます。エネルギー問題以前に防災課題です。どうぞ、私と一緒に取り組んでください。

建設環境委員会行政視察報告

帯広市の「職員による事業提案制度の実務」、釧路市の「中心市街地活性化への取り組み」を当該市の担当者から直接に説明を受けました。

帯広市の制度では、企画提案も説明も直接市長に対して行われます。予算付けもあり、職員のやる気を引き出すいい方法だと思いました。

釧路市では中心市街地活性化のため、商工会と共同で新規出店希望者に有利な条件で空き店舗のあっせんをするなどの事業を実施しています。西東京市でも、当該商店街自身のアイディアとそれを生かすサポート体制の構築は必要です。それ以上に、市全体としてどのようなまち作りをするのかの、明確なポリシー、ビジョンが必要だと感じました。

「百聞は一見にしかず」というように、帯広にしても釧路にしてもその広大さに圧倒されてしまいました。保谷高範市長お得意の「都市基盤整備」など猫の額をみがくに等しく、当地に比べればもう終わっているじゃないかとの思いが強くなりました。

「インターネットや情報紙、また、口コミの情報を想像力で補って」というのが私の基本的な思索方法なのですが、今回の視察はそれらでは十分には得られない収穫があったと考えています。（もう少し詳しい報告はホームページをご覧ください。また、ホームページを見られない方はご連絡くだされば、該当部分をお送りします。）

「干し柿名人」奮闘記

過日、思いがけず、知人から大渋柿を30個あまりいただきました。翌日さっそく皮をむきひもに結んで、竿に引っかけました。実に3年ぶりの干し柿作りです。

例年150個、200個と作っていたのですが、ここ数年は何かと気ぜわしく、渋柿の入手にさえ手が回りませんでした。大満足で、晴れ晴れとした気分になったものです。

東京で干し柿を作るのは難しいらしいのですが、私は失敗したことがありませんでした。「干し柿名人」などと自称して鼻高々だったのですが、今年は条件がたいへんにわるいようです。例年は夜中に作って、朝から外に干すのですが、体調が万全ではなく夜中に作業をやりませんでした。外に干すのが昼過ぎになってしまったのです。それでも、翌日の天気が良いれば大丈夫だったのですが雨になりました。表面の乾きが十分でなかったうえ、気温も高い日が続くことになって、支障が出てきました。気温が高く湿気が多いとなれば、当然にもカビが発生します。さらに、ひもを掛けたへたの部分が取れて落ちてるものも出ました。被害甚大です。

その後は気温が下がり、天気も安定してきたので胸をなで下ろしました。時々雨になっていますが、数日間続いた晴れの天気で、お正月にはいくつか食べられるものが残りそうだと期待して見えています。自称「干し柿名人」の称号も返上しなければなりませんね。

森てるおの活動記録（2003年9～10月）

主なものを掲載しています。

- | | | | |
|------|------------------------|-------|---------------------|
| 9月1日 | 森てるおと語る会（保谷/5日田無/7日保谷） | 9月26日 | 本会議 |
| 2日 | 議会運営委員会 | 10月6日 | 行政評価制度学習会 / 各派代表者会議 |
| 5日 | 9月議会本会議 | 11日 | 環境行政フォーラム（～12日） |
| 8日 | 一般質問 | 14日 | 駅頭宣伝（～24日） |
| 11日 | 建設環境委員会（～12日） | 18日 | 川田えつこ氏応援 |
| 16日 | 予算委員会（～17日） | 20日 | 議会報編集委員会 |
| 18日 | 基本構想審査特別委員会（～19日） | 22日 | 友好都市調印式（千葉県勝浦市） |
| 22日 | 駅周辺再開発等特別委員会 | 28日 | 都市計画審議会 |